

日吉福祉大学・紅が丘大学の人権講座が行われ、受講生およそ70人が参加しました。講師に、シンガーソングライターで真宗大谷派の僧侶、鈴木君代さんを迎え、「いのちの花を咲かせよう」と題して行われました。講演で鈴木さんは、お経に出てくる「みんな消えてなくなってしまう。だから、今を一生懸命に生きよう」という言葉に感銘を受けたことなど、人を生かしていく言葉を伝えていきたい、と話されました。



▲自作の曲に乗せ仏教の教えを歌う鈴木さん

「みんな消えてなくなってしまう
だから、今を一生懸命に生きよう」

(12/13 日吉福祉大学・紅が丘大学「人権講座」)

「一本のたすきをつないで
園部のまちを駆け抜ける」

(12/16 第二十五回南丹市園部駅伝競走大会)



▲たすきをつないで、ゴールを目指します

旧園部町から毎年の恒例となっている「第25回南丹市園部駅伝競走大会」が、市園部公園陸上競技場をスタート・ゴールとする6区間、男子が15.51km、女子が13.93kmで競われました。競技には、地域や仲間同士で結成した29チームが参加。寒風の吹く中を、白い息を吐きながら、参加者らは1本のたすきをつないでいきました。結果は、地区対抗の部が小山西町、一般男子の部が園部高校野球部A、中学生男子の部がエクセレントシューターズ、一般女子・中学生女子の部がマルチーズでした。

みんなのひろば

まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0019へお寄せください。

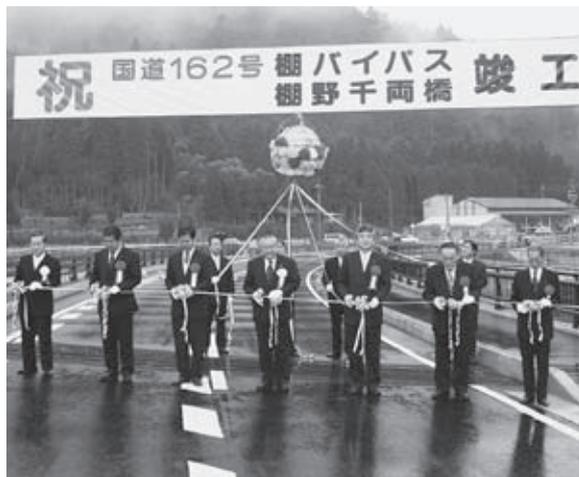
「地域交通の要 棚バイパスが完成」

(12/22 棚バイパス(棚野千両橋)完成式典)

美山町高野地内を通る国道162号の「棚バイパス(棚野千両橋)」が完成し、記念式典を現地で行いました。

式典には佐々木市長をはじめ、藤城南丹広域振興局長ら関係者と、地元市民らおよそ90人が参加。市長らによるテープカットの後、地元の方を先頭に、参加者全員で渡り初めを行いました。その後、道路の完成を記念して、地元の市立鶴ヶ岡小学校児童による音読発表と鶴陵太鼓かくりょうが披露され、道路の完成を祝いました。

国道162号は、古くから若狭と京都・大阪とをつなぐ重要な幹線道路です。急カーブで歩道もなく危険な個所でしたが、新設されたバイパスでは、トラックなどの大型車両でも通りやすくなりました。



▲完成を祝うテープカット